

【FdData 高校入試：中学社会地理：農林水産業】

[\[世界の農業／近郊農業・促成栽培・抑制栽培／稲作・野菜・果樹・畜産／日本の農業の特色と課題／農業全般：各県の生産統計／漁業／林業／FdData 入試製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 入試ホームページ\]](#)掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧]

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#)

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】世界の農業

[問題]

次の表のア～エは、小麦、米、大麦、大豆のいずれかの 2021 年における生産量が多い世界の上位 4 か国を示したものである。小麦にあてはまるのは、表中のア～エのうちのどれか。

	1 位	2 位	3 位	4 位
ア	ブラジル	アメリカ	アルゼンチン	中国
イ	ロシア	オーストラリア	フランス	ドイツ
ウ	中国	インド	バングラデシュ	インドネシア
エ	中国	インド	ロシア	アメリカ

(東京都)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

小麦と米については、1 位中国、2 位インドと共通である。3 位以下が異なる。米はアジアの国が、小麦はアメリカやヨーロッパの国が並ぶ。アは大豆<sup>だいず</sup>、イは大麦、ウは米、エは小麦。  
小麦生産順位(2021 年)：中国(17.8%)、インド(14.2%)、ロシア(9.9%)、アメリカ(5.8%)  
米の生産順位(2021 年)：中国(27.0%)、インド(24.8%)、バングラデシュ(7.2%)、インドネシア(6.9%)

(統計修正)「世界国勢図会 2023/2024」P212・213・215

※入試出題頻度：「小麦の生産国順位○」「米の生産国順位△」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)、○(出題頻度が高い)、△(ときどき出題される))

[問題]

次の表の作物 A～C は、米、小麦、とうもろこしのいずれかについての生産上位国を示している。作物 C の説明文として最も適当なものを、あとのア～ウのうちから 1 つ選び、記号で答えよ。

2019 年	作物 A	作物 B	作物 C
1 位	アメリカ合衆国	中国	中国
2 位	中国	インド	インド
3 位	ブラジル	ロシア	バングラデシュ
4 位	アルゼンチン	アメリカ合衆国	インドネシア
5 位	ウクライナ	フランス	ベトナム

ア パンやめん類などに加工され、世界各地で主食としている国が多い。

イ アジア州の国で多く生産されこの地域で主食としている国が多い。

ウ 食用以外に、植物油の原料や家畜の飼料としている国が多い。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]イ

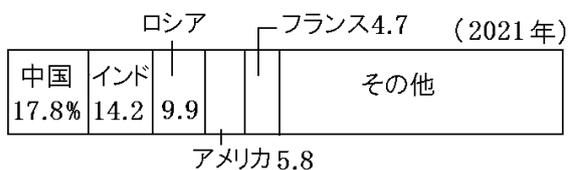
[解説]

作物 C は米、作物 B は小麦、作物 A はとうもろこしである。説明文のアは小麦、イは米、ウはとうもろこしである。

(統計修正)「世界国勢図会 2023/2024」 P212・213

[問題]

略地図中の●で示した地域は、2つの国におけるある農産物の主な栽培地域を示している。また、グラフは、この農産物の生産国別割合(2021年)を示している。この農産物は何か。



(和歌山県)

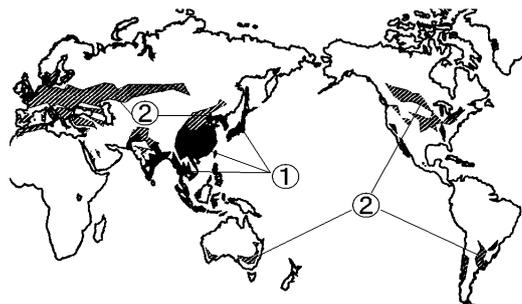
[解答欄]

[解答]小麦

(統計修正)「世界国勢図会 2023/2024」 P212

[問題]

右の略地図は、世界における小麦と米のおもな栽培地域を示したものである。



(1) 図中の① , ② のうち、おもな小麦の栽培地域を示すものはどれか。

(2) 次の A, B, C の文のうち、小麦について述べた文として最も適当なものはどれか。

- A 先進国ではほとんど栽培されず、おもに発展途上国で栽培されている。
- B 比較的気温が高く降水量の多い地域でおもに栽培されている。
- C 比較的冷涼で乾燥した地域でおもに栽培されている。

(愛知県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ② (2) C

[解説]

小麦は、ヨーロッパ、アメリカ、西アジアなど多くの国で主食になっている。小麦は比較的冷涼<sup>れいりょう</sup>で乾燥<sup>かんそう</sup>した地域でおもに栽培されている。

[問題]

次はある農産物の国別輸出割合(2021年)の上位第4位までの国である。この農産物を、下の[ ]から1つ選べ。

ロシア(13.8%), オーストラリア(12.9%), アメリカ(12.1%), カナダ(10.9%)

[ 米 小麦 とうもろこし 綿花 ]

(山梨県改)

[解答欄]

--

[解答]小麦

[解説]

小麦の生産量は1位中国、2位インドであるが、これらの国は人口が14億人をこえるために、生産された小麦のほとんどは自国内で消費される。小麦の輸出が多いのは、ロシア(13.8%), オーストラリア(12.9%), アメリカ(12.1%), カナダ(10.9%)などである。

(統計修正)「世界国勢図会 2023/2024」 P224

※入試出題頻度：「小麦の輸出国順位△」

[問題]

右の図は、わが国とアルゼンチン、イギリス、インド、フランスの小麦の収穫時期を示したものである。図中のア～エのうちアルゼンチンにあてはまるものはどれか。1つ選んで、その記号を書け。

国名\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日本						—	—	—				
ア			—	—	—							
イ						—	—	—				
ウ									—	—	—	
エ	—											—

(香川県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

小麦は初夏～秋にかけて収穫しゅうかくされる。イギリス、インド、フランスは日本と同じく北半球にある。アルゼンチンは南半球にあるため、北半球とは季節が逆になり、12月・1月は夏にあたる。したがって、エがアルゼンチンの収穫時期を示していると判断できる。

[問題]

Kさんは、世界の自然環境や生活・文化と農業の関連について調べた。これについてまとめた次のア～エの説明文のうち、誤っているものを1つ選び、その記号を書け。

- ア アフリカのサハラ砂漠やオーストラリア内陸部の乾燥地域では、食料や家畜の飼料として利用されるとうもろこしがさかんに栽培されている。
- イ 中央アジアから西アジアにかけては、羊の飼育が多い地域となっている。これは羊が乾燥に強いだけでなく、この地域に多く住むイスラム教徒が、豚肉を食べないことにも関係がある。
- ウ 小麦は、米に比べて気温の低いところや降水量の少ないところでも栽培ができ、ヨーロッパやアメリカ合衆国の中部などでさかんに栽培されている。
- エ 米は、小麦に比べて高い気温と多くの水が必要で、中国の南部やインドの東部などでさかんに栽培されている。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アが誤り。サハラ砂漠さばくやオーストラリア内陸部の乾燥地域かんそうちいきでは、雨がほとんど降らないので植物の栽培はできない。

【】日本の農業

【】近郊農業・促成栽培・抑制栽培

[近郊農業]

[問題]

大都市に近い立地条件を生かした園芸農業を何農業というか。

(青森県)

[解答欄]

[解答]近郊農業

[解説]

都市向けに野菜・花・果実などを生産する農業を園芸農業<sup>えんげい</sup>という。野菜など新鮮さが求められる作物は大消費地に近い場所でさかんに栽培されている。このように、大都市の近くで野菜などを生産

[近郊農業]  
大消費地に近い地域で、  
野菜などを生産

する園芸農業を近郊農業<sup>きんこうのうぎよう</sup>という。太平洋ベルト地帯には大都市が集中しているが、大消費地に近いという利点を生かして、その周辺では近郊農業がさかんである。とくに、東京に近い千葉県や茨城県では近郊農業がさかんである。

※入試出題頻度：「近郊農業◎」「大消費地に近い地域で野菜などを生産△」

[問題]

右の資料の  部分の農業の特色としてもっとも適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で書け。

- ア 涼しい気候を利用し、時期をずらして野菜を出荷している。
- イ 広大な土地を利用した酪農がさかんである。
- ウ 大都市向けの野菜などの栽培が行われている。
- エ 米作りがさかんで、銘柄米生産の中心地である。



(福井県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

太平洋ベルト地帯には大都市が集中している。太平洋ベルトの大都市周辺では近郊農業<sup>きんこう</sup>がさかんである。

アは抑制栽培で、長野県、群馬県、岩手県などで行われている。

イの酪農は北海道がとくにさかんである。

エの稲作は、東北、北陸でさかんである。

[問題]

次の説明にあてはまる道または県を，地図のA～Dから1つ選び，記号で答えよ。

火山灰におおわれた台地では，ほうれんそう，ねぎ，キャベツなどの野菜生産や乳牛，鶏の飼育がさかんである。また，南部では花の栽培もおこなわれている。

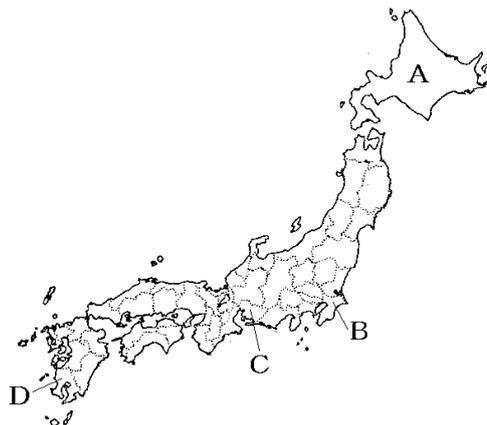
(鳥取県)

[解答欄]

[解答]B

[解説]

「火山灰におおわれた台地」とは関東ロームである。ほうれんそうとねぎの上位4県は関東地方の県が占めている。また，冬でも温暖な房総半島や三浦半島の南部では一年中花が栽培されている。



[問題]

☐☐☐☐で示した県は，ある農産物の生産量で全国における上位3県(2022年)である。その農産物は次のどれか。

[米 ほうれんそう りんご みかん]

(長崎県)

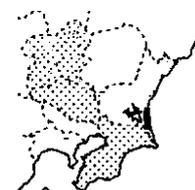
[解答欄]

[解答]ほうれんそう

[解説]

米の上位3県は新潟県，北海道，秋田県である。りんごの上位3県は青森県，長野県，岩手県である。みかんの上位3県は和歌山県，愛媛県，静岡県である。ほうれんそうとねぎの上位4県は関東地方の県が占めている。ほうれんそうの上位3県(2022年)は，群馬県，埼玉県，千葉県である。

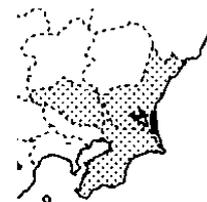
(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P142・155・156



[問題]

略地図中の $\square$ は、ねぎの生産量が多い上位3県(2022年)を示している。これらの県で生産量が多いのはなぜか。自然的な条件以外の面から書け。

(鹿児島県)



[解答欄]

[解答]大消費地に近いから。

[解説]

ねぎの上位3県(2022年)は、茨城県、千葉県、埼玉県である。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P156

[問題]

Sさんは、賀茂なすや九条ねぎなどの京野菜が京都市の郊外や周辺地域で生産されていることを知った。東京や京都などの大都市から距離の近い地域に、野菜や生花などを生産する農業が多くみられる理由を「新鮮」「大消費地」という語句を使って説明せよ。

(山口県改)

[解答欄]

[解答]農産物を新鮮なうちに、近くの大消費地に出荷することができるから。

[促成栽培]

[問題]

野菜の生産は、千葉県や茨城県などの近郊農業の地域や、宮崎県や高知県などのビニールハウスを利用して出荷時期を早める栽培方法の地域、岩手県や長野県などの抑制栽培の地域を中心にさかんに行われている。下線部の栽培方法を何というか。

(和歌山県)

[解答欄]

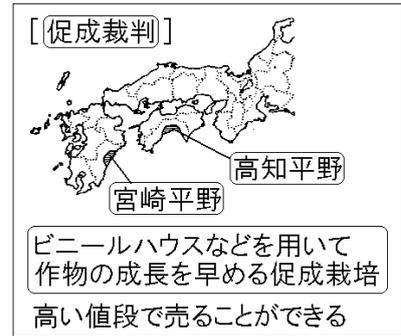
[解答]促成栽培

[解説]

宮崎平野(宮崎県)や高知平野(高知県)などでは、沖合を流れる黒潮(日本海流)の影響で冬でも比較的に温暖である。ここでは、ビニールハウスなどを用いて作物の成長を早める促成栽培がさかんである。

なす・きゅうり・ピーマンなどの野菜の促成栽培を行い、出荷時期を早めることで、高い値段で売ることができる。例えば、きゅうりはもともと夏野菜で、かつては、冬には出回らなかった。促成栽培によって冬場に出荷すると、供給量が少ないため高い値段で売ることができる。(ビニールハウスなどの施設を使った園芸農業を施設園芸農業という)これらの野菜を、大型冷蔵庫のついたトラックで東京などの遠距離の消費地に出荷しているが、近年の高速道路網の発達によって輸送時間が短縮されたため野菜の鮮度を保つことができるようになった。

※入試出題頻度：「高知平野(地図)○」「宮崎平野(地図)○」「ビニールハウスなどを用いて作物の成長を早める○」「促成栽培◎」「高い値段で売ることができる△」



[問題]

高知平野では、温暖な気候を利用した野菜の栽培が行われている。この地域の野菜の栽培に関する説明として最も適切なものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア ビニールハウスの中で野菜の生育を早めている。
- イ ため池の水を利用して夏に野菜を育てている。
- ウ 大消費地に近いので野菜を新鮮なまま出荷している。
- エ 大型機械を使い野菜を安く大量に生産している。

(徳島県)

[解答欄]

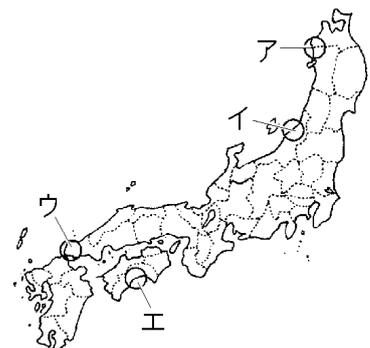
[解答]ア

[問題]

次の農業の特色について述べている地域はどこか。地図中ア～エから1つ選び、記号を書け。

1年を通して温暖なこの地域では、ビニールハウスなどで、きゅうり、ピーマンなどの野菜を栽培し、出荷する促成栽培がさかんに行われている。

(沖縄県)



[解答欄]

[解答]エ

[問題]

促成栽培とはどのような栽培方法か，施設と出荷時期の面から書け。

(石川県)

[解答欄]

[解答]ビニールハウスなどを用いて作物の成長を促し，早く出荷できるようにする方法。

[問題]

促成栽培は，生産者にとってどのような利点があるか。「出荷時期をずらす」「価格」という語句を使って説明せよ。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]出荷時期をずらすことで，高い価格で売ることができること。

[問題]

高知県では，野菜の生産・出荷時期を早める工夫をしており，保冷車を使用したり，高知自動車道などを利用したりして出荷している。下線部の目的を，「距離」「野菜」の語を用いて簡潔に書け。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]輸送する距離が長いので，野菜の鮮度を保つ必要があるから。

[抑制栽培]

[問題]

長野県の高地では、夏の冷涼な気候を利用して、他の産地よりも時期を遅らせてレタスなどを栽培している。このような栽培方法を何栽培というか。

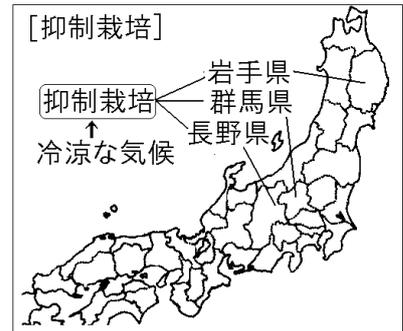
(大分県改)

[解答欄]

[解答]抑制栽培

[解説]

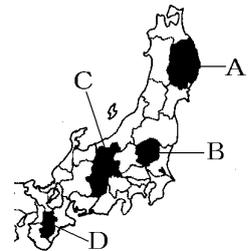
長野県や群馬県や岩手県では、涼しい気候を利用して出荷時期をおくらせる抑制栽培がさかんである。例えば、レタスは春と秋の季節に適した作物であるので、春と秋には茨城県などから東京市場へ出荷される。気温の上がる夏には栽培できないので、夏の間には茨城県からの出荷はほとんどなくなる。標高が高くても夏でも涼しい気候を利用して、長野県ではレタスの栽培を行い、高速道路を使って東京まで短時間で運んでいる



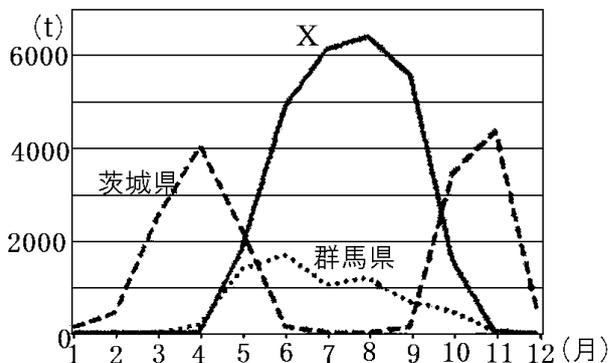
※入試出題頻度：「抑制栽培○」

[問題]

次の資料Ⅰは、わが国の2015年におけるレタスの生産量上位3位までの都道府県が、その年に東京都中央卸売市場へ出荷した量を月別に表したものであり、資料Ⅱは、わが国の平均標高の高い上位5位までの都道府県を表したものである。資料Ⅰと資料Ⅱ中のXには、同じ都道府県名が入る。この都道府県を、地図中のA～Dから1つ選べ。



資料Ⅰ



資料Ⅱ

順位	都道府県名	平均標高(m)
1	( X )	1132
2	山梨県	995
3	群馬県	764
4	岐阜県	721
5	富山県	665

(高知県)

[解答欄]

--

[解答]C

[解説]

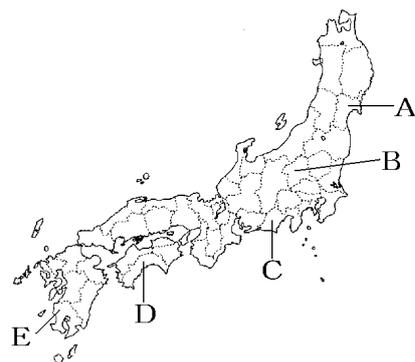
標高の高い長野県(C)の中央高地では夏の間も 20℃前後と涼しいため、レタスなどを、夏に出荷する高冷地農業がさかんである。

[問題]

近年の農業では、大消費地向けの野菜の栽培がさかんに行われている。次のア、イは、略地図中の A～E のどの県について述べたものか、それぞれ 1 つずつ選び、記号で答えよ。

ア この県の平野部では、第二次世界大戦以降、ビニールハウスや温室を利用した野菜の促成栽培がさかんである。特になすの生産量は全国一である。

イ この県の西部では、高原の涼しい気候をいかした高冷地農業がさかんである。主に、レタスやキャベツを夏から秋にかけて出荷する。



(山形県)

[解答欄]

ア	イ
---	---

[解答]ア D イ B

[解説]

D は高知県。B は群馬県。

[問題]

次の説明文は、日本各地の農業の特徴について述べている。文中の①～③に適する語句を下の[ ]からそれぞれ選べ。

- ・宮崎県や高知県では、温暖な気候を利用して( ① )が行われており、きゅうり、ピーマンの生産がさかんである。
- ・茨城県や千葉県では、人口の多い大消費地の近くという利点を生かして( ② )が行われており、野菜の生産がさかんである。
- ・愛知県や沖縄県では、夜間に電灯の光をあてて生長を調整する( ③ )が行われており、菊の生産がさかんである。

[ 近郊農業 促成栽培 抑制栽培 ]

(沖縄県改)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 促成栽培 ② 近郊農業 ③ 抑制栽培

[解説]

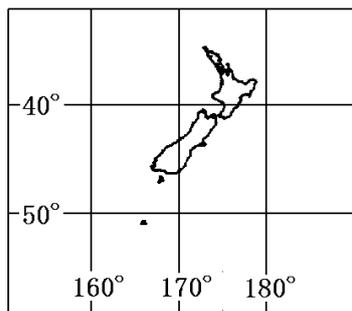
愛知県や沖縄県で行われている電照菊の栽培は、夜間に電灯の光をあてて生長を遅らせるもので、抑制栽培の一種である。

[問題]

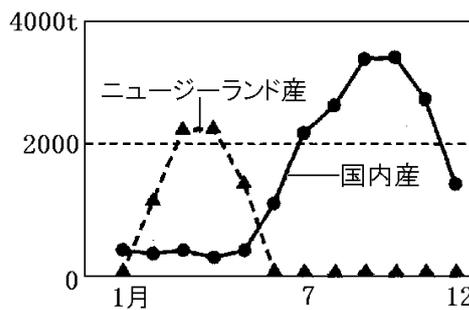
次の文章中の X に当てはまる文を、「赤道」「季節」という 2 つの言葉を用いて、簡潔に書け。

カボチャは主に夏から秋にかけて収穫される。略地図とグラフを参考にすると、ニュージーランドは、( X )ことから、国内産のカボチャの入荷量が少なくなる時期に、ニュージーランド産の入荷量が増えていることがわかる。

ニュージーランド付近の緯度と経度



東京都中央卸売市場の  
カボチャの入荷量(2019年)



(岐阜県)

[解答欄]

[解答]赤道より南にあり、日本と季節が反対になる。

【】 稲作・野菜・果樹・畜産

[稲作など]

[問題]

次は、米の生産量の多い都道府県を、第5位まで示したものである。( )にあてはまる都道府県名を、漢字で書け。

1位 新潟県, 2位 ( ), 3位 秋田県, 4位 山形県, 5位 宮城県  
(大分県)

[解答欄]

[解答]北海道

[解説]

米の生産量1, 2位は北海道と新潟が競っている。2023年の生産順位は、

1位新潟県, 2位北海道, 3位秋田県, 4位山形県, 5位宮城県, 6位福島県, 7位茨城県



(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」 P522

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

略地図は、土地利用に関する主題図である。Xにあてはまるものはどれか。次の[ ]から1つ選べ。

[ 果樹園 畑 水田 牧草地 ]

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]水田

[解説]

北陸や東北地方が高い割合になっているので、Xは水田であると判断できる。



[問題]

新潟県をはじめ、米づくりのさかんな地域では、近年、米の消費量が減少するなかで、収益を向上させるために、米の生産や流通にさまざまな努力や工夫をしている。努力や工夫の具体的な例を1つ書け。

(北海道)

[解答欄]

[解答]銘柄米の生産

[解説]

1994年に、新食糧法が制定されて、米の自由販売が認められるようになった。<sup>めいがらまい</sup>銘柄米など味のよい米が消費者に好まれる傾向にあり、稲作農家はおいしい米作りに努めている。銘柄米としては、コシヒカリ(新潟県・福島県)、はえぬき(山形県)・あきたこまち(秋田県)、ひとめぼれ(宮城県・岩手県)、つがるロマン(青森県)などが有名である。

[問題]

日本の稲作の説明として誤っているものを、ア～エから1つ選び、符号を書け。

- ア 山間部よりも、平野や盆地で主に生産されている。
- イ 高い収益をあげる銘柄米の開発が進められてきた。
- ウ 北海道や東北・北陸地方において、生産量が多い。
- エ 米の消費量が年々増え、水田の面積は増加傾向にある。

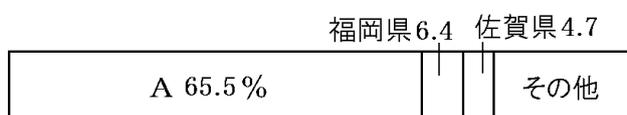
(大分県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

右図は、2023年における、小麦の収穫量の多い上位3都道府県を示したものである。Aに当たる都道府県名を書け。



(大阪府)

[解答欄]

[解答]北海道

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P145

[果実]

[問題]

右の表はりんごの生産量(2022年)が多い上位5県を示したものである。表中のBにあてはまる県名を書け。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]長野県

[解説]

(果実の生産量上位県：2022年)

	第1位	第2位	第3位	第4位以下
みかん	和歌山 22.4%	愛媛 16.0	静岡 15.1	熊本, 長崎
りんご	青森 59.6	長野 18.0	岩手 6.5	山形, 福島
ぶどう	山梨 25.1	長野 17.8	岡山 9.0	山形, 福岡
もも	山梨 30.5	福島 23.7	長野 10.3	山形, 和歌山
おうとう	山形 77.0	北海道 9.5	山梨 3.3	
日本なし	千葉 9.8	茨城 9.1	栃木 8.7	福島, 長野
かき	和歌山 19.4	奈良 13.7	福岡 8.2	岐阜, 愛知

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P155

※入試出題頻度：「りんご：青森県・長野県○」「みかん：和歌山県・愛媛県・静岡県○」

県名	生産量(千 t)
A	439
B	133
C	48
D	41
福島県	24

[問題]

右図のXにあてはまる県と「ある果実」の組み合わせとして最も適当なものはどれか。

- ア 福島・もも
- イ 愛媛・みかん
- ウ 青森・りんご
- エ 山梨・ぶどう

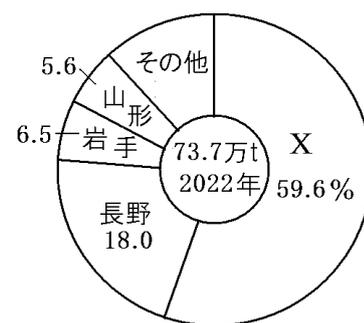
(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ウ

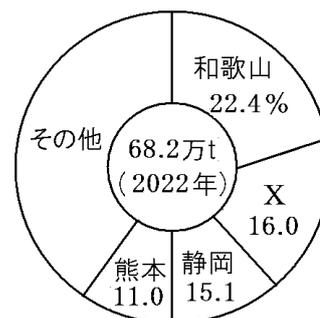
(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P155

「ある果実」の都道府県別生産割合



[問題]

右の資料は、和歌山県で生産がさかんなある果実の都道府県別の生産割合を示したものである。①この果実の名称を答えよ。②また、資料の中にある X にあてはまる県は略地図中の A～D のうちどれか。



(鹿児島県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① みかん ② A

[解説]

みかんの生産が多いのは、和歌山県、愛媛県(地図の A)、静岡県、熊本県である。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」 P155

[問題]

次は、ある果実の都道府県別生産高割合(2022年)を示したものである。この果実を、[ ] の中から 1 つ選べ。

1 位 : 和歌山県(19.4%)、2 位 : 奈良県(13.7%)、3 位 : 福岡県(8.2%)

[ うめ みかん かき もも ]

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]かき

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」 P155

[茶]

[問題]

略地図に■で示した 3 つの県は、ある農作物の収穫量上位 3 県である。この農作物が栽培されている場所を示す地図記号として最も適当なものを、次のア～エから 1 つ選び、その記号を書け。



ア ♪ イ ♪ ウ ♪ エ ♪

(三重県)

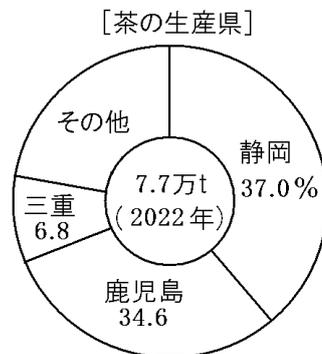
[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

地図記号のアは畑，イは果樹園，ウは茶畑，エは田(水田)である。

地図の3県は静岡県，三重県，鹿児島県で，この3県が上位3位をしめる農産物は茶である。

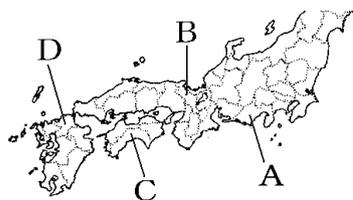


(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P157

※入試出題頻度：「茶：静岡県・鹿児島県・三重県○」

[問題]

右の資料は，わが国の2022年における茶の生産量に占める各都道府県の割合を表したものである。資料中のXに当てはまる都道府県を，略地図中のA～Dから1つ選び，その記号を書け。



(高知県)

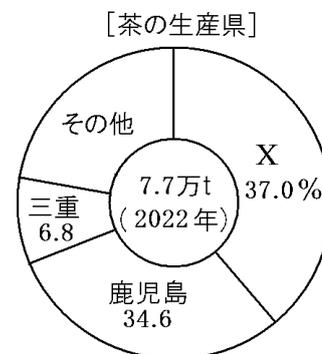
[解答欄]

[解答]A

[解説]

茶の生産が全国1位であるのは静岡県(地図のA)である。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P157



[問題]

次は、みかん、茶の都道府県別の生産の割合を示したものである。Xにあてはまる都道府県名を答えよ。

みかん(2022年)	和歌山県(22.4%), 愛媛県(16.0%), X(15.1%), 熊本県(11.0%)
茶(2022年)	X(37.0%), 鹿児島県(34.3%), 三重県(6.8%)

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]静岡県

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P155, 157

[畜産]

[問題]

北海道は畜産業がさかんであり、次の資料は、2023年の乳用牛、肉用牛、豚の飼育頭数の都道府県別上位5位までを示したものである。Xにあてはまる都府県名を書け。

乳用牛(万頭)：北海道(84.3), 栃木県(5.4), 熊本県(4.4), 岩手県(4.0)

肉用牛(万頭)：北海道(56.6), ( X )県(35.8), 宮崎県(26.0), 熊本県(13.9)

豚(万頭)：( X )県(115.3), 宮崎県(81.8), 北海道(76.0), 群馬県(59.4)

(福井県)

[解答欄]

[解答]鹿児島

[解説]

畜産は、北海道地方では酪農<sup>らくのう</sup>や肉牛の飼育、九州地方南部の鹿児島県や宮崎県では肉牛や豚、ブロイラーの飼育がさかんである。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P161

※入試出題頻度：この単元はしばしば出題される。

【】日本の農業の特色と課題

[せまい1戸あたりの耕地面積]

[問題]

次の文中の①、②の( )内からそれぞれ適語を選べ。

日本の農業は、世界的に見ると農家1戸あたりの耕地面積は①(広く／せまく)、単位面積あたりの生産性は②(高い／低い)。

(茨城県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① せまく ② 高い

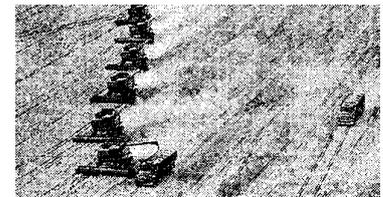
[解説]

日本では、せまい農地に肥料を多く使い、農作業の機械化で労働力の節約をすすめてきた。その結果、単位面積あたりの収穫量は多い。日本の農業の経営規模の拡大は、農地の借り入れや農作業の受委託などによって進められているが、農業従事者1人あたりの農地面積は1.7ha(2017年)にとどまっております、先進農業国とは大きな開きがある。例えば、アメリカの農業従事者1人あたりの農地面積は71.3ha(2017年)と日本の場合の約42倍で、農業機械を使った大規模農業を行っている。アメリカでは1人あたりの収穫量が非常に多いため、生産コストを安く抑えることができる。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

右の写真はアメリカ合衆国の小麦の収穫風景である。また、下の表は日本とアメリカ合衆国の農業従事者1人あたりの農地面積を示したものである。写真と表を参考にして、日本の穀物栽培がアメリカ合衆国と比べ、国際競争で不利になる理由を説明せよ。



(2017年)

国名	農業従事者1人あたりの農地面積
日本	1.7ha
アメリカ合衆国	71.3ha

(島根県改)

[解答欄]

--

[解答]農業機械を使った大規模農業を行っているアメリカでは、1人あたりの収穫量が非常に多いため、生産コストを安く抑えることができるため。

[低い食糧自給率]

[問題]

わが国は肉類や魚介類、穀物類などの食料品を多く輸入している。次の文は、食料品の輸入にかかわることがらについて述べたものである。文中の X に当てはまる語を漢字 3 字で書け。

国内で消費する食料全体のうち、国内生産によってまかなえる量を示す割合は「食料 ( X )」と呼ばれている。わが国の「食料(X)」は 2010(平成 22)年以降 40%を下回り、品目別でみると、米は 100%に近い一方で小麦は 10%台となっている。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]自給率

[解説]

国内で消費する食料のうち、国内で生産できている割合を<sup>しよくりようじきゅうりつ</sup>食料自給率という。日本の食料自給率は低下を続け、現在(2022年)、38%と低い水準にある。これは、農産物の貿易自由化により、安い輸入農産物の輸入量が増えたためである。

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」 P132

※入試出題頻度：この単元はしばしば出題される。

[問題]

次の文中の( )にあてはまることがらを、「外国産」、「価格」という 2 つの語句を用いて、簡潔に書け。

たかし：大豆は、油やみそなどの原料になるんだね。

母：そうよ。栄養価も高くて、昔からよく食べられていたわ。

たかし：なぜ、アメリカ産やブラジル産が多くて、日本産が少ないの。

母：私が生まれた昭和 36 年に輸入が自由化されて、次第に関税が引き下げられたの。だから、( )ので、日本での生産量が減ったのよ。

たかし：輸入の自由化は、日本の農産物の生産に影響したんだね。

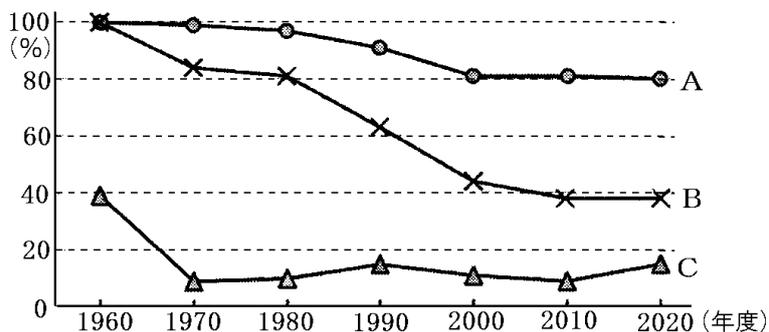
(大分県)

[解答欄]

[解答]外国産の安い価格の大豆が輸入されるようになった

[問題]

次の資料中の A～C は日本の小麦，野菜，果実のいずれかの食料自給率の推移を示したものである。A～C はそれぞれ何の自給率か。



(大分県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A 野菜 B 果実 C 小麦

[問題]

わたしたちの食生活は，肉類，果実類等の消費が増え，食料を外国からの輸入に依存するようになってきたといえる。このことについて，不安な面が指摘されることがある。それはどのようなことか説明せよ。

(富山県)

[解答欄]

[解答]貿易が停止した場合に食糧不足になるおそれがある。

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

自然を相手にする農業は，台風や冷害などの自然災害の影響を受けて，収穫量や価格が変動しやすく，また，海外からの安い農産物の( ① )が増えたため，その経営は厳しくなっている。近年，農業を目指す若い人が減っており，農業に就く人の 3 分の 2 が，65 歳以上の( ② )者によって占められている。こうした( ③ )者の不足や(②)化の進行とともに，使われなくなった農地の荒廃なども深刻な課題になっている。

(補充問題)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 輸入 ② 高齢 ③ 後継

[農家の取り組み]

[問題]

農産物の輸入自由化の影響や外国からの安い農産物に、日本の農業はおさがちである。しかし、これに対抗するために日本国内の農家は( X )などさまざまな取り組みをおこなっている。Xに適する具体的な取り組みを「品質」「安全」という語句を使って簡潔に書け。

(宮崎県改)

[解答欄]

[解答]高い品質や安全性を重視した農産物を生産する

[解説]

わが国の農業は零細経営<sup>れいさい</sup>が大部分を占めるので、工業や他国農産物に比べ生産性が低く、割高なものが多い。しかし、日本国内の農家は、高い品質や安全性を重視した農産物の生産で対抗しようと努めている。また、地元で作られた農林水産物を地元で消費する<sup>ちさんちしょう</sup>地産地消の動きも広がっている。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

最近、右の資料のように、果実の生産者が、インターネットを使って、生産物を消費者に直接販売する場合もあることがわかった。このような販売のしかたは、生産者の立場からみて、どのような利点があるか。消費者と直接にかかわりをもつことができることに着目して、具体的に1つ書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]消費者の要望を直接とらえて、それを生産や販売にいかすことができること。



[問題]

地域の農業の活性化や地域への愛着を深めることを期待し、地元で作られた農林水産物を地元で消費することを何というか、漢字4字で書け。

(岐阜県)

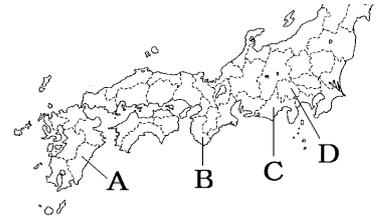
[解答欄]

[解答]地産地消

【】 農業全般：各県の生産統計

[問題]

右の略地図中の A～D のいずれかの県の農業について述べた文のうち、B について述べた文として正しいものはどれか。



ア 日当たりのよい山の斜面でみかんの栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

イ 温暖な気候の平野部できゅうりの促成栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

ウ 水はけのよい扇状地でぶどうの栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

エ 日当たりと水はけのよい台地で茶の栽培が行われ収穫量は全国 1 位である。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

アは B の和歌山県、イは A の宮崎県、ウは D の山梨県、エは C の静岡県についての説明である。

※入試出題頻度：この単元はよく出題される。

[問題]

表のア～エは、地図の A～D のいずれかを示している。ア～エに当たる県を、A～D の中からそれぞれ選び、県名も書け。

道・県	農業生産額 (億円)	米 (億円)	果実 (億円)	畜産 (億円)
北海道	13,108	1,041	77	7,652
ア	2,337	701	694	392
イ	1,658	876	75	356
ウ	2,651	460	132	1,701
エ	3,277	389	1,094	947



(2021 年)

(静岡県改)

[解答欄]

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

[解答]ア D, 山形県 イ B, 秋田県 ウ C, 岩手県 エ A, 県

[解説]

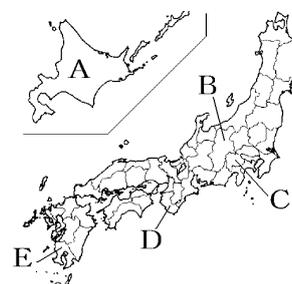
米の生産量 1, 2 位は北海道と新潟県が競っており, 3 位に秋田県が来る(東北で一番多い)。したがって, イは秋田県(B)と判断できる。果実の生産額が多いアとエは青森県(りんご)か山形県(おうとう, ぶどう)であるが, 米の生産順位は山形県が青森県より多いので, アが山形県(D), エが青森県(A)と判断できる。畜産が多いウは岩手県(C)である。



(統計修正)「データで見る県勢 2024」 P176

[問題]

表は, 地図中の都道府県 A~E の農産物生産量(2022 年)を示したものである。地図中の A~E の都道府県に該当するものを, 表中のア~オからそれぞれ 1 つずつ選べ。



	かんしょ (さつまいも)(千 t)	ばれいしょ (じゃがいも)(千 t)	みかん (千 t)	ぶどう (千 t)	りんご (千 t)
ア	—	1819	—	7	8
イ	—	—	153	—	—
ウ	—	—	—	41	—
エ	—	15	—	29	133
オ	210	98	10	—	—

(鳥取県改)

[解答欄]

A	B	C	D
E			

[解答]A ア B エ C ウ D イ E オ

[解説]

B は長野県で, りんごの生産量が青森県に次いで第 2 位で, A~D の中では最も多い。したがって, エが長野県(B)と判断できる。ぶどうの生産順位は, ①山梨県, ②長野県なので, ウが山梨県とわかる。みかんの生産順位は, ①和歌山県, ②愛媛県, ③静岡県なので, イは和歌山県(D)と判断できる。ばれいしょ(じゃがいも)の生産日本一は北海道である。したがって, アは北海道(A)とわかる。



かんしょ(さつまいも)の生産順位は、①鹿児島県、②茨城県、③千葉県であるので、オは鹿児島県(E)と判断できる。

(統計修正)「データで見る県勢 2024」 P181, 182, 184

[問題]

次の表は島根県、北海道、新潟県、山梨県、宮崎県の農産物統計である。ア～エはそれぞれ何県を表しているか。

道県名	小麦収穫量 (百 t) (2022 年)	ぶどう収 穫量(百 t) (2022 年)	ピーマン収穫 量(百 t) (2022 年)	農業産出額に占め る米の割合(%) (2021 年)
島根県	3	22	9	26.8
ア	3	408	—	5.2
イ	6142	66	55	7.9
ウ	1	12	281	4.6
エ	—	21	6	55.2
全国計	9935	1626	1500	

(島根県改)

[解答欄]

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

[解答]ア 山梨県 イ 北海道 ウ 宮崎県 エ 新潟県

[解説]

宮崎県といえば、冬でも温暖な気候を利用した野菜(ピーマンやキュウリ)の促成栽培そくせいさいばいで有名である。ピーマンの生産順位(2022 年)は、①茨城県、②宮崎県、③高知県、④鹿児島県である。したがって、表のウが宮崎県であると判断できる。

ぶどうの生産順位(2022 年)は、①山梨県、②長野県なので、アが山梨県と判断できる。

小麦は 8 割以上を輸入に頼っているが、国内の生産順位(2022 年)は、①北海道、②福岡県、③佐賀県となっている。したがって、イが北海道と判断できる。

残りのエは新潟県である。日本海に面した新潟県は冬の積雪のために二期作は行えず、水田単作地帯となっており、農業産出額に占める米の割合が高くなっている。

(統計修正)「データで見る県勢 2024」 P176, 180, 182, 185



[問題]

次の表は、新潟県、千葉県、兵庫県、鳥取県について農産物の収穫量および水産物の漁獲量を示したものである。このうち兵庫県にあたるものを表中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

	農産物(2022年)		水産物(2021年)	
	米(t)	日本なし(t)	まぐろ類(t)	かに類(t)
ア	177,000	1,230	9	2,457
イ	631,000	9,360	2,438	1,986
ウ	259,500	19,200	441	13
エ	62,200	11,800	3,526	3,050

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

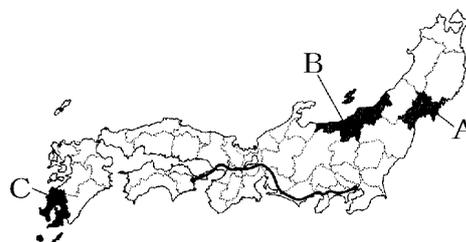
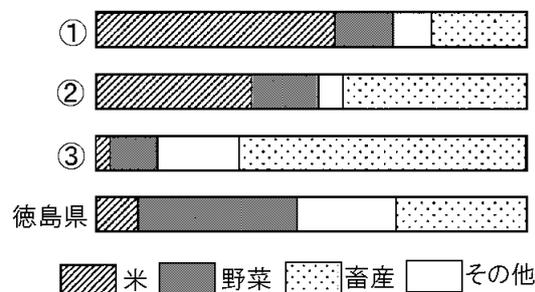
[解説]

日本なしの生産順位(2022年)は、①千葉県、②茨城県、③栃木県で、鳥取県も生産が多いので、ウが千葉県、エが鳥取県と判断できる。米の生産は新潟県と北海道が日本1、2位を争っているなので、イが新潟県であることがわかる。したがって、兵庫県は残りのアである。  
(統計修正)「データで見る県勢2024」P180, 182, 197, 198



[問題]

下の資料は、略地図中のA～Cの各県と徳島県の農業生産額に占める米、野菜、畜産の割合(2021年)を示したものである。資料中の①～③のグラフは、それぞれ略地図中のA～Cの県のいずれかにあたる。これを見て、次の各問いに答えよ。



- 資料中の①～③にあてはまる県はどれか、略地図中のA～Cから1つずつ選べ。
- 資料中の徳島県のグラフから、徳島県では農業生産額に占める野菜の割合が大きいことがわかる。その理由を「大都市」という語句を用いて簡潔に書け。

(徳島県)

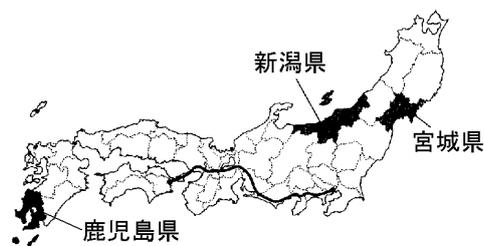
[解答欄]

(1)①	②	③
(2)		

[解答](1)① B ② A ③ C (2) 大都市に近く，新鮮な野菜を供給できるから。

[解説]

③は，米の割合が極端に低く，畜産の割合が高いことから C の鹿児島県と判断できる。鹿児島県はシラス台地が広がり，水もちが悪いため水田に適さない所が多く畑作や畜産が農業の中心である。とくに畜産は日本でも有数である(肉用牛 2 位，豚 1 位，肉用若鶏 1～2 位)。米の割合が高い①は B の新潟県である。新潟県は日本海に面した豪雪地帯で，水田単作地帯となっている(冬は積雪のために農業ができない)。



(統計修正)「データで見る県勢 2024」 P175

【】日本の漁業・林業

【】漁業

[とる漁業から育てる漁業へ]

[問題]

世界各国が( X )を設定して漁獲量を制限するようになり、日本の遠洋漁業の漁獲量は減少した。文中の X に適語を入れよ。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]排他的経済水域

[解説]

[排他的経済水域→漁獲高の減少]

1970年代以降、各国が排他的経済水域を設定→遠洋漁業が減少

沖合漁業:増加から減少へ  
輸入が急激に増加

日本は世界有数の水産国で、各地に大きな漁港が発展してきた。しかし、1970年代以降、各国が排他的経済水域を設定したため遠洋漁業の漁獲高は減少した。これを補うように沖合漁業の漁獲高が増加したが、日本近海の不漁などにより沖合漁業の漁獲高も減少した。1980年代後半以降、海外からの水産物の輸入が急激に増加した。

※入試出題頻度：「グラフ：遠洋漁業○・沖合漁業○・輸入△・養殖業△」

「排他的経済水域◎→遠洋漁業が減少○→輸入が増加△→自給率低下△」

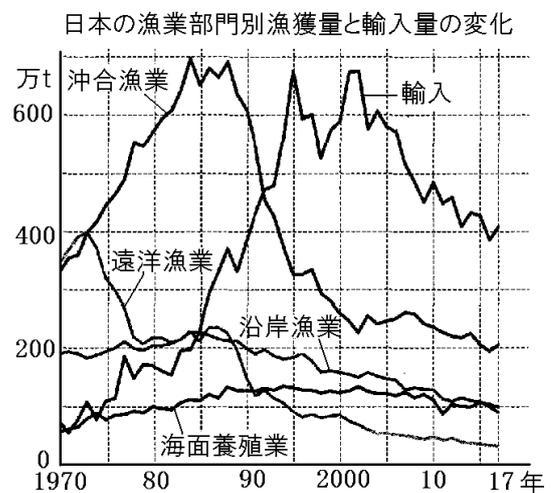
[問題]

日本の遠洋漁業の漁獲量は1970年代中ごろから大きく減少した。その理由について「200海里」ということばを使い、簡単に説明せよ。

(北海道)

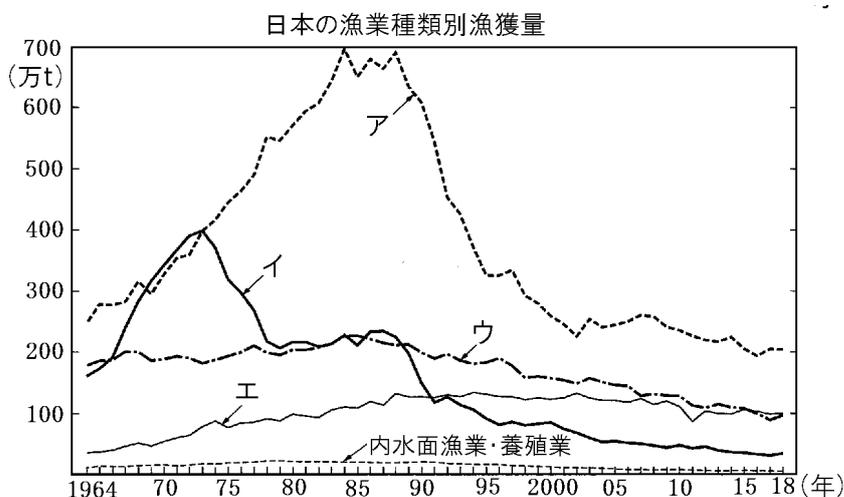
[解答欄]

[解答]各国が200海里の排他的経済水域を設定したため。



[問題]

次のグラフ中のア～エは、沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業、海面養殖業のいずれかの漁業形態による漁獲量と一致する。ア～エのうち、遠洋漁業と海面養殖業にあたるものはどれか。それぞれ、その記号を書け。



(広島県改)

[解答欄]

遠洋漁業：	海面養殖業：
-------	--------

[解答] 遠洋漁業：イ 海面養殖業：エ

[解説]

アは沖合漁業、イは遠洋漁業、ウは沿岸漁業、エは海面養殖業である。

[問題]

次の表は、わが国の1970年、1985年、2000年、2015年における遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業のそれぞれの漁獲量と加工品を含む水産物輸入量(単位は万t)の推移を示そうとしたものである。表中のア～エは、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業のそれぞれの漁獲量と加工品を含む水産物輸入量のいずれかを示している。ア～エのうち、①遠洋漁業の漁獲量と、②加工品を含む水産物輸入量にあたるものはそれぞれどれか。1つずつ選んで、その記号を書け。

	1970年	1985年	2000年	2015年
ア	75	226	588	426
イ	328	650	259	205
ウ	189	227	158	108
エ	343	211	85	36

(香川県)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① エ ② ア

【解説】

1970年以降減少しているエが遠洋漁業である。1970年以降増加しているアは輸入である。1970年～1985年にいったん増加し、その後減少傾向にあるイは沖合漁業である。ウは沿岸漁業である。

【問題】

日本の魚介類について、国内の生産量が減少し、輸入量が増加したため、自給率が大きく低下したが、このようになった原因として、どのようなことが考えられるか、説明せよ。

(鳥取県)

【解答欄】

--

【解答】漁獲規制や近海での水産資源の減少のために国内の生産量が減少し、また海外から安い魚介類が手に入りやすくなって輸入が増えたことが原因と考えられる。

【問題】

次の文中の①、②に適語を入れよ。

海に囲まれた日本は、漁業がさかんである。しかし、( ① )水域の設定や、資源保護などで漁獲量の制限が厳しくなり、国内の漁獲量は減って、水産物の輸入が増えている。こうしたなかで、とる漁業から育てる漁業への転換が進められ、各地で( ② )や栽培漁業が行われている。

(和歌山県改)

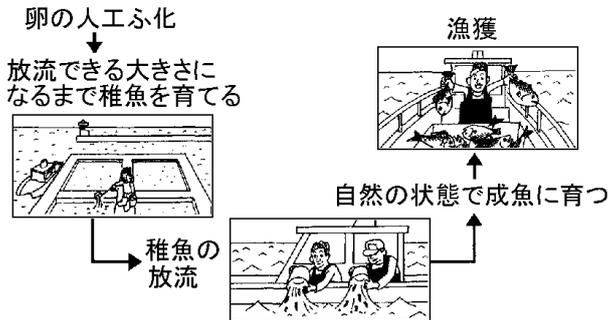
【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 排他的経済 ② 養殖(養殖漁業)

[問題]

近年、これまでの「とる漁業」だけでなく、「育てる漁業」にも力が入れている。この「育てる漁業」のうち、次の図のような漁業の方法を何というか。



(岡山県)

[解答欄]

[解答]栽培漁業

[問題]

次の文中の①、②にあてはまる語句を右の図中の語句を使って、それぞれ書け。

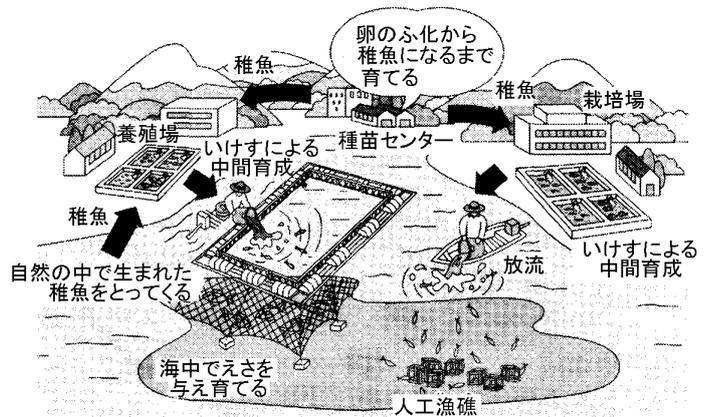
養殖漁業は、人工の池の中で( ① )を育てた後、海の中に網を張って大きくなるまで人工的に育てる漁業である。栽培漁業は、卵からふ化させた(①)をある程度まで人工の池の中で育てた後、自然の海や川に( ② )する漁業である。

(佐賀県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 稚魚 ② 放流



[漁場など]

[問題]

略地図中に X で示した地域の沖合は、太平洋を南から流れてくる暖流と北から流れてくる寒流の影響で、好漁場になっている。この暖流と寒流は、それぞれ何とよばれるか。そのよび名を書け。

(香川県)



[解答欄]

暖流：	寒流：
-----	-----

[解答]暖流：黒潮(日本海流) 寒流：親潮(千島海流)

[解説]

日本付近の海は世界三大漁場の1つになっている。好漁場となるのは、<sup>たいりくだな</sup>大陸棚の比較的浅いところ(バンク)、寒流と暖流がぶつかる<sup>しおめ</sup>潮目など、魚のえさになるプランクトンが大量に発生する海域である。例えば、日本の東北地方の<sup>さんりく</sup>三陸海岸沖は、暖流の<sup>くろしお</sup>日本海流(黒潮)と寒流の<sup>おやしお</sup>千島海流(親潮)がぶつかって潮目ができ、プランクトンが大量に発生し、それをえさにする魚が多く集まるため好漁場となっている。



※入試出題頻度：「親潮(千島海流)○」「黒潮(日本海流)○」「潮目(潮境)○」

[問題]

三陸海岸の沖は、魚が集まるよい漁場になっている。その理由を沖を流れる寒流と暖流の名をあげて、簡単に書け。

(北海道)

[解答欄]

--

[解答]寒流の親潮(千島海流)と暖流の黒潮(日本海流)がぶつかる潮目ができているから。

[問題]

日本の近海は、世界の3大漁場の1つに含まれている。世界の3大漁場はどのような自然条件のところにあるか、25字程度で書け。

(青森県)

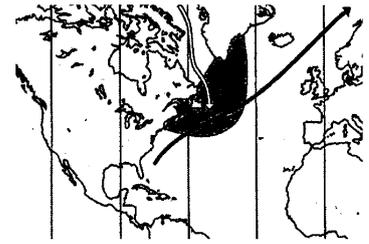
[解答欄]

--

[解答]大陸棚の上や暖流と寒流のぶつかる潮目ができる海域。

[問題]

右図の→と⇐は、それぞれ海流の流れを示したものであり、●は、世界有数の漁場となっている海域を示したものである。図の●で示した海域が世界有数の漁場となっているのはなぜか、2つの海流の性質の違いにふれて書け。



(熊本県)

[解答欄]

[解答]暖流と寒流がぶつかる海域だから。

## 【】 林業

### [問題]

次の文中の①、②の( )内より適語を選べ。

日本では古くから、吉野すぎなどの針葉樹が木造建築に使われ林業のさかんな地域が全国に広がっていた。しかし、1960年代後半以降、海外からの木材の輸入が増えたことで、国内の林業は大きな打撃を受け、林業に従事する人は次第に少なくなった。日本の林業が衰退したのは、日本の木材は外国産と比べて価格が①(高く／低く)、競争力が②(高い／低い)からである。

(補充問題)

### [解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 高く ② 低い

### [解説]

日本は温帯の気候で降水量こうすいりょうが多いため、森林資源が豊富である。また、かつて、国有林などの伐採跡地ぼっさいあとちにすぎやひのきの植林がさかんに進められたため伐採可能な人工林も着実に増えている。しかし、日本の森林は山間部に多いため、伐採して運び出すまでの費用がかかり、安い輸入材にくらべて割高になってしまう。木材自給率じきゅうりつは1960年ごろは90%近くあったが、1970年ごろから、安い輸入材がふえ、国産材を上回るようになり、41%になった(2022年)。安い木材の輸入が増えたことで、国内の林業は大きな打撃だげきを受け、林業に従事する人は次第に少なくなった。また、若い後継者こうけいしゃが少なく、従事者の高齢化こうれいかが進んでいる。

[林業]  
安い輸入木材の増加  
→林業が大きな打撃  
後継者不足と高齢化

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P167

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

### [問題]

日本の木材自給率は、74%(1965年)から41%(2022年)に低下している。このように、木材自給率が低下した要因を簡潔に書け。

(和歌山県)

### [解答欄]

--

[解答]国産木材より安い外国産木材の輸入が増加したため。

[問題]

まきさんは、自分が住む地域では林業がさかんであることに気づき、日本の林業について調べた。日本の森林と林業について述べた文として適当でないものを、ア～エから1つ選べ。

ア 日本は国土の半分以上が森林であり、古くから林業が行われてきた。

イ 日本では、1960年以降、林業に従事する人の数が増加し続けている。

ウ 森林には、水を蓄える役割や海の漁場保全という役割が備わっている。

エ 林業促進のため、地元の木材を使った産直住宅を奨励する地域も存在する。

(大分県)

[解答欄]

[解答]イ

## 【FdData 入試版のご案内】

詳細は、[\[FdData 入試ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

姉妹品：[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

### ◆FdData 入試の特徴

FdData 入試は、公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。入試理科・入試社会ともに、過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して、細かい單元ごとに再編集して作成しております。

### ◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。

しかし、FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 入試の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール([info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com))、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#) ([Shift]+左クリック)

※[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com) Tel : 092-811-0960